

## 大津町議会活性化特別委員会 意見交換会記録

会議名	大津町議会活性化特別委員会と大津町PTA連絡協議会との意見交換会	
日時	令和6年5月31日(金) 19時00分～	
場所	大津町役場 4階 全員協議会室	
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津町PTA連絡協議会 7名</li> <li>・桐原議長</li> <li>・議会活性化特別委員会委員 5名 (山本委員長、佐藤副委員長、大塚委員、田代委員、大村委員)</li> <li>・議会広報特別委員会 三宮委員長(取材のため同席)</li> <li>・議会事務局 3名(荒木局長、田上次長、飯塚書記)</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 17名</p>	
次第	<p>司会：大村委員</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議長挨拶</li> <li>3. 参加者紹介(自己紹介)</li> <li>4. 趣旨説明(山本委員長)</li> <li>5. 資料説明(佐藤副委員長)</li> <li>6. 意見交換</li> <li>7. お礼の言葉(大塚委員)</li> <li>8. 閉会(14:15)</li> </ol> <p style="text-align: right;">※終了後議場見学実施</p>	
意見概要	<p>Aさん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の人口が増えている中で、イベントに顔を出したり町民の意見を聴いて回る議員が不足していると言えるのでは。よって定数は増やすべきと考える。</li> <li>・予算があるので定数と報酬はセットで考えるべきものとは思いますが、定数については報酬のことありきで考えすぎると良くないのではないかと。報酬で生活できるようになると、逆に議員の固定化に繋がるのではないかと。</li> <li>・議員の働きによって町の何かが変わっていることを町民はどの程度実感できているのだろうか。議員の活動が見えることで議員が輝いて見えるようであれば成りたい人も出てくるのではないかと。</li> <li>・議員の活動をするうえでは、効率化だけでなく泥臭いことも必要でないかと。</li> </ul> <p>Bさん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬をあげたら、もっと議員活動に集中できる人も出てくるのではないかと。</li> <li>・逆に、楽しんで報酬をもらう人も出てくるようであれば、議員活動に対しての歩合制の導入などもあってはどうか。</li> <li>・定数が増減することのメリット・デメリットをもっと分かりやすく示すべきかと。</li> <li>・町民が町議のことを知ろうとしていないことも要因であると思うので、町民の意識を変</li> </ul>	

えていくことも必要か。

- ・議員の活動を評価できる仕組みがあれば、報酬や定数も増やそうとなるのではないか。
- ・議員と町民との関わりで成功事例などがあると他の町民にも分かりやすいのではないか。

Cさん

- ・極端だが、無投票だと何が良くないのかが分からない。逆に町が健康だからとの見方もできるのではないか。
- ・選挙については、生粋の大津町民がどの程度いるか、若い人がどの程度残っているかで変わってくるのではないか。よそから来た人が多いことも無投票に繋がっていると思う。
- ・子育て真ただ中でそれどころではない状況。逆に子育て世代は知らないことも多いのでそこに情報を刷り込みしていくと、広がっていくのではないか。

Dさん

- ・昔は選挙もお祭り騒ぎで活気があった様に思う。議員への期待が高かったのではないか。
- ・知り合いの菊池市議員からは、実際選挙がないと議員も何をして良いのか、住民が何を思われているのかが掴みづらいとの話を聞いた。
- ・実際に立候補するとなるとサラリーマンは退職しないといけないので自営業でない議員はできないのではというイメージ。
- ・子育て世代にとって今の安い報酬ではとても生活できない。
- ・定数も必要だから今の数があるのであって、報酬を増やすから定数を減らすというのはおかしいと思う。減らした分、議員一人の負担が増えると思うがそれをよしとするのか。

Eさん

- ・普段は、議会だよりで得る情報のみであり、今日の会はずごく勉強になった。
- ・議員が何をしているのか分からない人たちが多く、もっと情報発信が必要か。
- ・今の町長が議員時代に、熊本地震のボランティアでよく仮設住宅に来ていた。議員にはそのような活動にも力を入れていただきたい。

Fさん

- ・議員報酬については、議員の活動量や報酬の全国平均などから比較すると良いのではないか。
- ・議員になることはハードルが高い。報酬などのこともあるが、若い人が地盤を作って選挙活動することが出来るのか。議員の年齢が高いこともそこに原因があると思う。
- ・議員をやってみようという気力の問題よりも、まず、議員は何をすれば良いのか分からない。
- ・一主婦が議員になろうとするときは、何からすべきなのか。PTA活動などから初めて基盤を作っていくしかないのか。

- ・町内で今回のような交流を重ねていったら成り手も増えていくのではないか。
- ・議会だよりについて個人的には読み応えが感じられない。中身をもっと読みたい。小説感覚で読みたい。

#### Gさん

- ・議員に魅力を感じない。
- ・国会議員は情報として入ってくるが、町議員は昔からお世話になっている人しか分からない。
- ・町議員を見る機会や話す機会がない。見かけても話す内容のハードルが高い気がして、話かけにくい。
- ・議員報酬は上げて良いと思う。今の給料では成り手不足になると思う。
- ・まずは20代、30代をターゲットにして成り手を増やす取り組みをしてはどうか。
- ・今回の資料はとても見やすく分かりやすかった。
- ・議会だよりは一部横書きも検討できないか。

#### Aさん

- ・選挙のやり方を変えられたら面白いのではないか。例えば裁判官のように罷免ができる  
と良いのではないか。

#### Cさん

- ・このような機会を設けて、それを若い人たちが見ることで声が届くのだということが分かれば、議員になろうという人もでるのではないか。
- ・女性の議員ももっと増えて、格好良い姿を見れば成りたいと思う人もいるのではないか。
- ・PTAも同じく成り手不足の課題を抱えている。

(参加できなかった人の意見として)

- ・町議会をもっと見える化した方が良いのではないか。
- ・議会だよりの内容が曖昧で分かりにくい。
- ・町民にとって議員報酬が高いのか低いのかは分かりにくい。